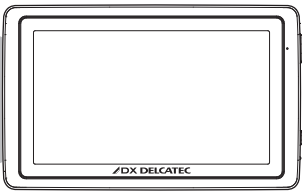
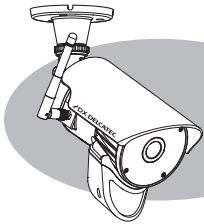


このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
使用方法については、取扱説明書をご確認いただけますようお願いいたします。

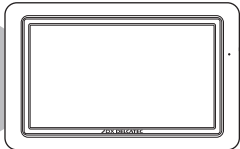
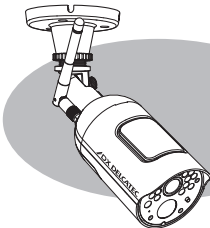
- ・ワイヤレスフルHDカメラ
&モニターセット **Full Hi-Vision**
WSC610S

・増設用ワイヤレスフルHDカメラ
WSC610C
- ・ワイヤレスHDカメラ
&モニターセット **Hi-Vision**
WSC410S

・増設用ワイヤレスHDカメラ
WSC410C



ワイヤレスフルHDカメラ (WSC610C) 9インチ液晶モニター (WSC610M)



ワイヤレスHDカメラ (WSC410C) 7インチ液晶モニター (WSC410M)

INDEX

安全上のご注意 / 警告	1	液晶モニターを準備する	3	カメラを設置する	7-8
警告 / カメラを準備する	2	設置する前に	4-6		

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	危険	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険が切迫して生じる可能性があるもの					
	警告	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの					
	注意	誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの					
	一般的な注意事項		水ぬれ禁止		接触禁止		指示を守る
	一般的な禁止事項		分解禁止		ぬれ手禁止		プラグを抜く

警告

次の場所に設置しない

- 雨水などがかかる場所（液晶モニターの場合）
故障の原因となります。

○強度の不足する場所、不安定な場所
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

○継続的に振動が発生する場所（工事現場など）
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

○人や車両の通行の妨げになる場所
ぶつかったり、接触してけがや破損の原因となります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。

○浴室やシャワー室、プールなど湿気の多い所
湿気や湯気による故障の原因となります。

○塩害や腐食性ガスが発生する場所
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- 可燃性ガスが発生している場所
爆発によるけがの原因となります。

○可燃物のそば
・わらびき屋根の軒下
・ベランダ等、洗濯物や布団などが製品に触れる場所
・風により可燃物が飛んできてこの製品をおおうおそれのある場所

⚠ 警告 (つづき)

電源工事が必要な場合は、電気工事が行なえる販売店か電気工事店に依頼する

電気工事士の資格がない場合、電気工事をするのは、法律で禁止されています。

屋外コンセントは、防水ケースを使用する

屋外で屋内用のコンセントを使用すると、漏電や感電の原因となります。

下記のような場所や条件では、人体や医療機器等に影響を与える場合があるため、取り付けない

- 病院等特定の電波の使用を禁止された区域
- 医療用電気機器の近く(手術室、集中治療室等)
- 自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近く
- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の位置
誤動作による事故の原因となることがあります。

設置、点検時は次のことに注意する

- 設置・配線・点検時は電源を切ってから行なう。
感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- 足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険なので設置工事や点検をしない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- 本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えない。
けがや故障の原因となります。
- ケーブル類は正しく配置する。
引っ掛けると落下や転倒によるけがや故障の原因となります。
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力(トルク)指定がある場合はその力(トルク)で締め付け、堅固に固定する。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 台風の後や積雪の後などは、取付装置に緩みや異常が生じることがあるので注意する。
点検はお買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- 取り付けたカメラにぶら下がったり、無理な力を加えない。
落ちたりして、破損、けがの原因となります。

カメラを準備する

1 アンテナを取り付ける

付属のカメラ用アンテナをカメラ側面にあるアンテナ接続端子に取り付けます。

※ アンテナはネジ式です。アンテナの根元部分を持ち、時計回りに回して取り付けてください。

ご注意

- ・アンテナを取り付けていない状態でカメラを使用することはできません。

2 カメラ用ACアダプターを取り付ける

付属のカメラ用ACアダプターのミニプラグ側を、カメラのACアダプター接続コネクタに接続します。

コンセントプラグ側は家庭用コンセントに接続します。

memo

- ・カメラのACアダプター接続コネクタは、雨水などが浸入しにくいよう、きつめに作られています。接続の際は奥までしっかりと差し込み、軽く引っ張っても抜けないことを確認してください。

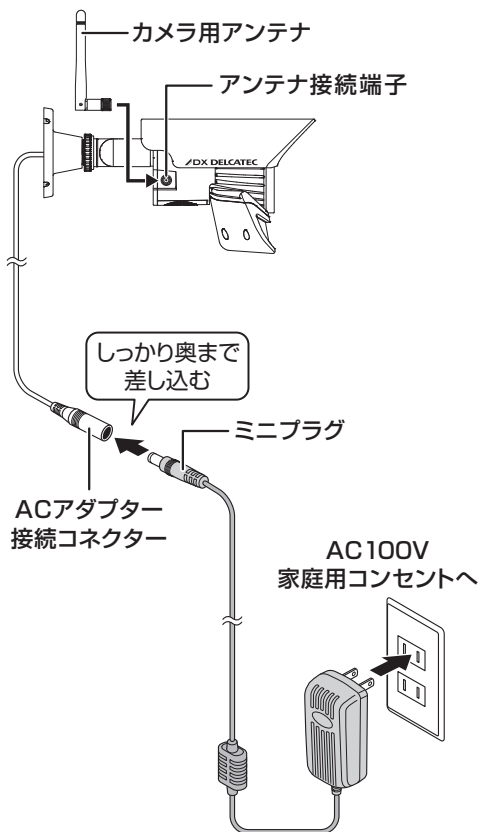
ご注意



必ず付属の専用ACアダプターを使用する

他の機器のACアダプターを接続すると、故障や感電等の原因となります。

- ・セットには2種類のACアダプターが同梱されています。製品記載の品番を確認の上、必ず専用のACアダプターを使用してください。
- ・ACアダプターは防水(防滴)仕様ではありません。水に濡れない場所でご使用ください。
- ・カメラのACアダプター接続コネクタは防水(防滴)仕様ではありません。コネクタ部が屋外になる場合は必ず市販の自己融着テープ等を使用し、防水処理を施してください。



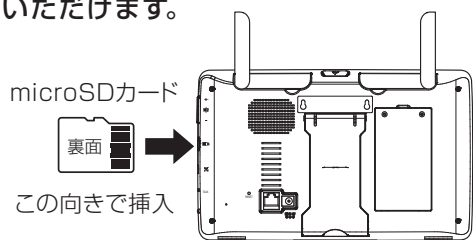
カメラ用ACアダプター

WSC610S(WSC610C) : CS18J090200FJF

WSC410S(WSC410C) : CS6D090060FJF

液晶モニターを準備する(WSC610SおよびWSC410Sのみ)

液晶モニターはACコンセント・内蔵のリチウムイオンバッテリーの2電源方式です。用途や設置場所に合わせてお使いいただけます。



1 SDカード挿入口にカードを挿入する

(WSC610M : microSDカード)
(WSC410M : SDカード)

microSDカードを挿入しておくと、映像を録画することができます。

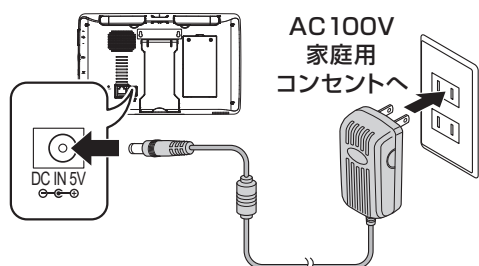
【付属のmicroSDカード以外をご使用になる場合(WSC610Mのみ)】

動作確認ができていないmicroSDカードをご使用ください。microSDカードは右記のQRコードから弊社ホームページを確認ください。



ご注意

- SDカードの抜き差しは、必ず液晶モニターの電源を「オフ」にしてから行ってください。
- 本機でお使いいただけるのは、128GBまでのmicroSD、microSDHCまたはmicroSDXCカード(WSC410M : SD、SDHCまたはSDXCカード)です。
- 全てのSDカードの動作を保証するものではありません。
- 規格外のSDカードを挿入しないでください。
- SDカードが挿入されていないと、SDカードアイコンが表示されません。
- 録画ファイルは容量が大きいため、動体検知録画設定でのご使用をおすすめいたします。
- 常時録画では録画時間に限りがあるため、スケジュール録画と動体検知録画設定の併用でのご利用をお勧めします。
- SDカードの録画・再生操作中は、本機の電源を切ったり、カードを抜き差ししたりしないでください。
- 録画ファイルを管理しやすくするため、動体検知録画設定時の継続時間は1分以内でのご使用をおすすめします。



モニター用ACアダプター

WSC610S(WSC610C) : CS12N050200FJF

WSC410S(WSC410C) : CS12N050200FJF

2 液晶モニター専用ACアダプターを取り付ける

付属の液晶モニター専用ACアダプターのミニプラグ側を本体背面のACアダプター接続端子に接続します。

ご注意

- 初めてお使いになるときは、ACアダプターを接続し、事前に充分充電を行ってください。

内蔵バッテリーが充電できていないときは、ACアダプターを差してもすぐに電源が入らない場合があります。そのときはしばらく待ってから電源投入してください。モニター停止時のバッテリー充電表示はありません。

3 アンテナを90度動かして立てる

ご注意

- モニターのアンテナは、90度以上動かさないでください。破損する可能性があります。

4 電源をオンにする

本体上部の電源(⏻)ボタンを約5秒長押しすると、電源がオンになります。カメラとの通信が完了すると、画面には接続カメラの映像が表示されます。

SDカードに関するご注意



メモリーカードの初期化が表示される

モニターにメモリーカードの初期化の案内が表示される場合は、SDカードの初期化が必要です。付属のSDカードは初期化(フォーマット)されていますが、別売のSDカードを本機でお使いになる場合は、初期化(フォーマット)した後、お使いください。

ご注意

- カメラの電源が入っていないときや通信が完了していない場合は「圏外です」と表示されます。

液晶モニターの電源を切るときは…

電源(⏻)ボタンを「電源をオフにします」と表示されるまで長く押し、はなしてください。

※ 画面表示が消えたことを確認してください。

5 モニターにカメラの映像が映ることを確認する

増設用カメラ(WSC610CまたはWSC410C)を使用するときはカメラとモニターをペアリングしてください。

ペアリング方法については、取扱説明書をご確認ください。

設置する前に

1 カメラ設置の注意点

- 他の機器からの温度変化や強い振動、電気ノイズの影響を受ける場所に設置すると誤作動する原因となります。
- カメラを設置場所に固定する前に、仮設置の状態でもう一度映像および電波の受信確認を行なうことをお勧めします。またその際、カメラの取付方向や撮影範囲も併せて確認してください。
- 設置の際は、直射日光や街灯などの光が直接当たって高温になるのを避けるため、また、レンズへの雨水付着を防ぐため、軒下等に設置することをお勧めします。
- 周辺に2.4GHz帯の電波を発生させる機器がある場合、誤動作を起こすことがありますので、離してお使いください。
(例:ルーター、コードレスホンなど)

カメラを設置するときは、電波到達距離や動体検知範囲に注意して取付けてください。
詳しくは下記の「**2 電波到達距離について**」および「**3 動体検知範囲について**」をご確認ください。

2 電波到達距離について

- 屋外にカメラ、屋内にモニターを設置する場合は、構造によって電波到達距離が変わります。木造、鉄骨、鉄筋コンクリートの各構造での目安は下記のとおりとなります。
(設置時には距離が目安よりも離れていないことを確認してください)

※ 設置環境によって電波到達距離が極端に短くなる場合があります。また電波が届かない映像が途切れる場合、アンテナ角度を調整していただくか、モニターの位置を移動していただく事で改善する場合があります。

木造
約20~40m

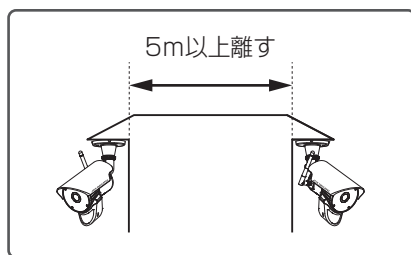
鉄骨構造
約10~20m

鉄筋コンクリート構造
約5~10m

【カメラ同士間の距離について】

隣接するカメラ同士は、カメラ間の電波干渉を防止するため、設置距離を5m以上離してください。(下図参照)

※ 5m以上離れたときに、間にWiFiルーターなど無線LANの機器がある場合には、電波が安定しない場合があります。無線LANの機器からも離して確認ください。

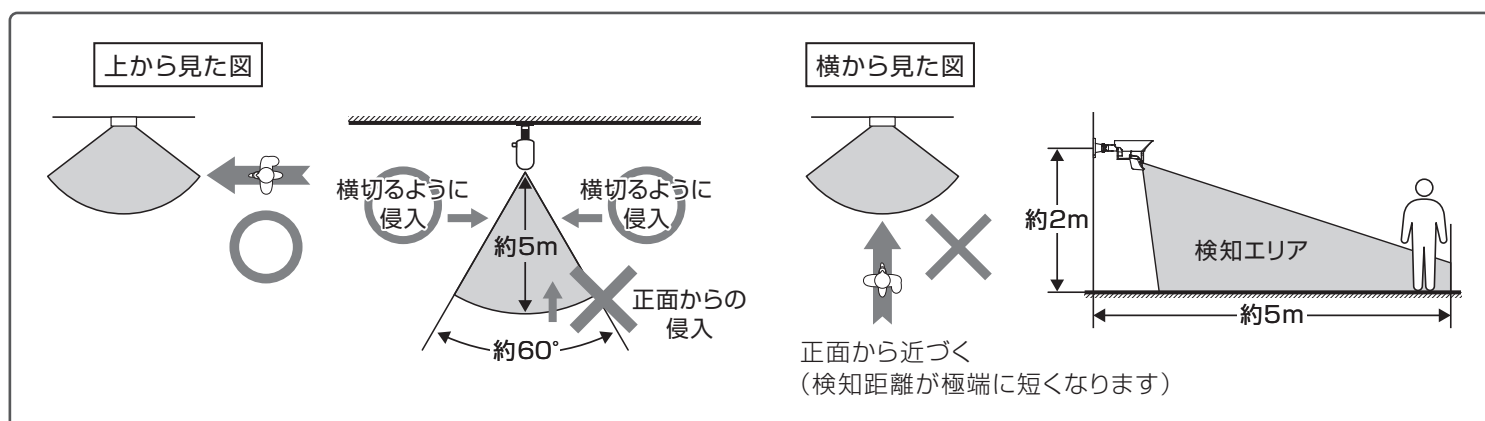


3 動体検知範囲について (動体検知機能は①人感センサー(下記)と②モーションセンサー(P.6)の2つの検知方法により動作します。)

① 人感(赤外線)センサーの反応範囲

人感センサーは赤外線センサー周囲の温度変化を検知する機能です(PIR:パッシブインフラレッド方式)

- カメラの人感センサー(PIRセンサー)の人感検知範囲(距離:5m/検知角:60度)で物体(人や動物)の動きがあった場合、「モーションセンサー設定」の設定によらず、録画を開始します。
- センサーの真下は検知しにくいことがあります。
- センサーの特性上、センサーに対して人が正面から近づく動きや人感検知範囲の温度変化が小さい場合は、検知しにくい場合があります。
- センサーは熱で反応するので、熱くなる場所などに設置は避けてください。



設置する前に (つづき 1)

- ・センサーは、向けている壁、地面とその間を通る人や車等の物体との温度差を検知します。このため、検知エリア内に動くものがあったり、急激な温度変化をひきおこす要因があると感度が極端に鈍くなったり、誤動作する原因となります。
- ・カメラの向きを真横から下向きに設置した場合、検知エリアがさらに手前になります。センサーの反応範囲とカメラの映像を見ながら設置する角度の確認をお願いします。

検知しない

取付場所を変更してください

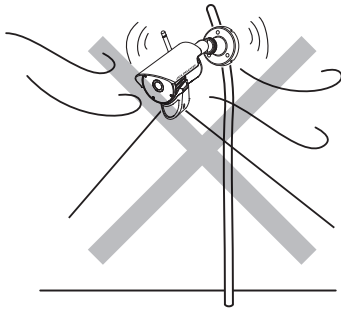
- 検知エリア内に障害物がある（植木、ガラスなど）



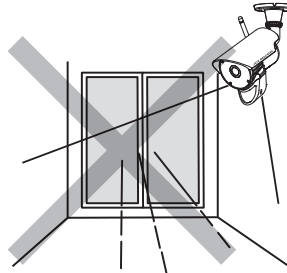
誤動作する

センサーが誤動作する恐れがありますので、
下記のような場合は取付場所、またはカメラの向きを変更してください。

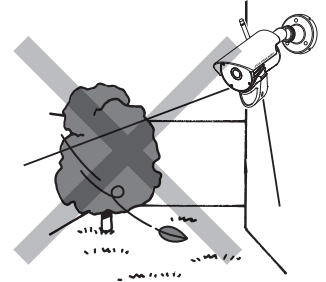
- 不安定なポールや壁面に取り付（検知エリアが定まらない）



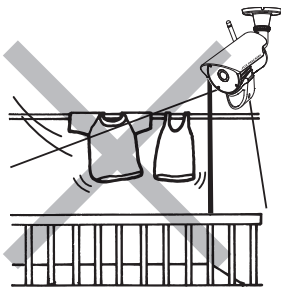
- 検知エリアが窓に向いている



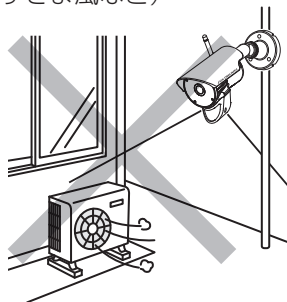
- 検知エリア内が木に向いている（風で木が揺れるため）



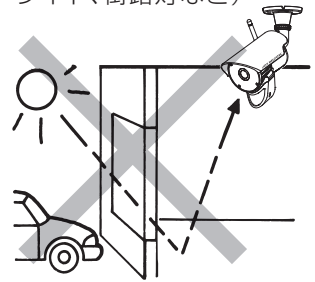
- 検知エリア内に洗濯物がある（風で洗濯物が揺れるため）



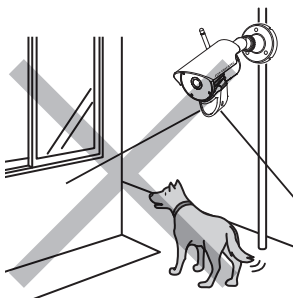
- 検知エリア内で急激な温度変化がある（エアコンの室外機、水、湯気、油、すきま風など）



- 直射光、反射光が当たる（太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライト、街路灯など）



- 検知エリア内に動くものがある（カーテン、猫、犬、自動車など）



設置する前に (つづき 2)

② モーションセンサーの反応範囲

モーションセンサーは画像の変化による動体検知にて反応します。

(モーションセンサーはモニターにて設定することができます。設定方法については取扱説明書を確認してください)

○ カメラが撮影した映像で反応しセンサーが働きます。夜間や暗がりなどでは夜間モードに切り替わるため、モーション設定は切になり反応しません。モーション設定の感度の項目で微調整をお願いします。

○ モーションセンサーは人感センサーでカバーできないエリアや動きに対する補助機能です。

○ モーションセンサーの検知エリア外でも人や物体(動物や車)などが人感センサーに反応することがあります。

○ モーションセンサーの設定にかかわらず、人感センサーの検知が優先されます。

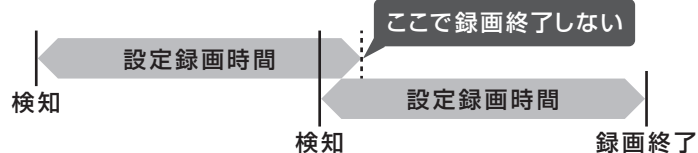
※ モーションセンサー機能は設定によりOFFにすることができます。

注) モーションセンサー機能は設定によりOFFにすることができます。



memo

モーションセンサーで設定をしても人感センサーが検知した場合には動作したり、動作時間が延長される場合があります。そのため、動作する人や物体(動物や車)などが映り込まない場所に設置してください。



モーションセンサーのみの設定です

(人感センサーの検知エリアは設定できません)

モーションセンサーの検知エリアはモニターでの設定より少し広めで反応する為、1マス程度小さめに設定することをお勧めします。

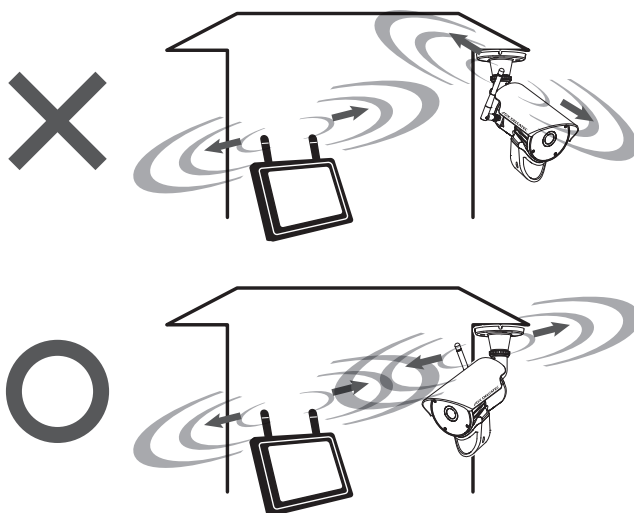
④ カメラ設置の確認事項

① 電波受信状況が安定しない状態

- ・よく「圏外」が表示される
- ・アンテナアイコンが0~1本しかない(②参照)



カメラの向きやアンテナの角度を変えることで、電波受信状況が改善する場合があります。



② 電波受信状況は、下図のとおりアンテナアイコンが3~4本ある事を確認してください。

設置する場所付近で無線LAN等、2.4GHz帯を利用する機器を使用している場合にも、電波受信状況が悪化する事がありますので、無線LAN等の機器から遠ざけて設置するよう、お願い致します。

〈例〉・ルーター・コードレスホン など



電波受信状況が3~4本ないときは、カメラを移動して電波受信状況が改善する場所をさがしてください。
カメラを移動できないときは、モニターを移動しながら電波受信状況が改善する場所をさがしてください。

カメラを設置する

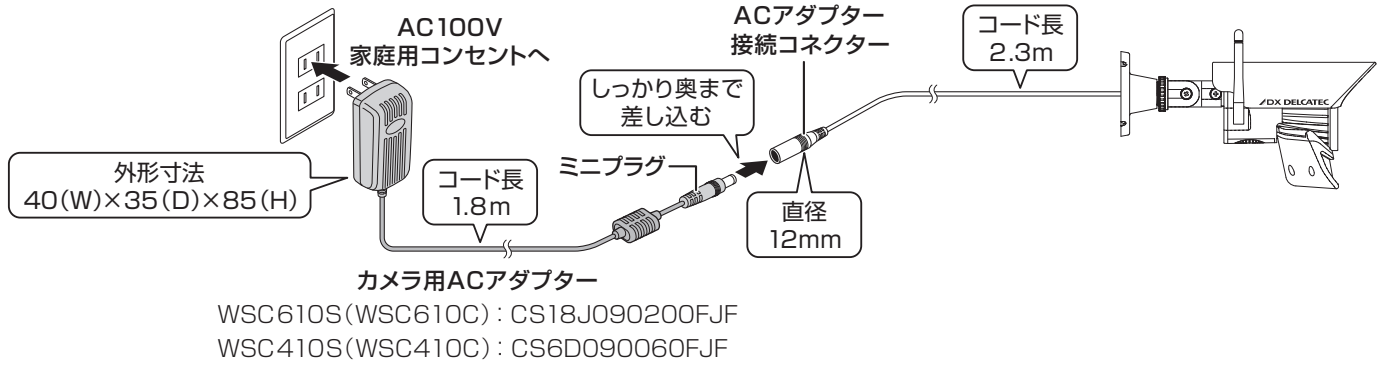
1 寸法を確認し、カメラを設置する場所を決める

カメラを設置する前に設置場所にて、事前にモニターに映像が映ることを確認してください。

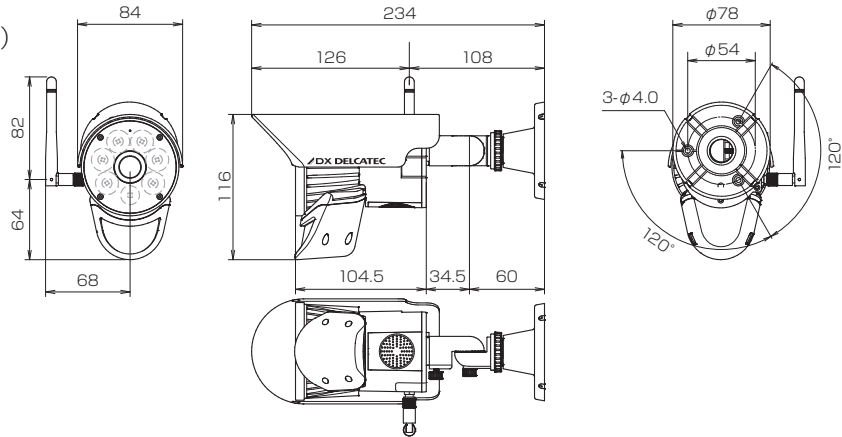
下図の寸法を参考に設置場所の確認をします。

memo

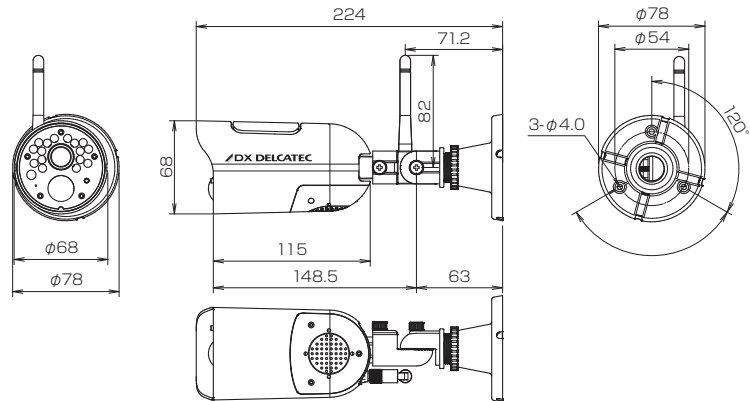
取り付ける場所が決まったら、取付ブラケットの穴位置(3ヶ所)に合わせてペン等でマーキングしておきます。



(WSC610S / WSC610C)

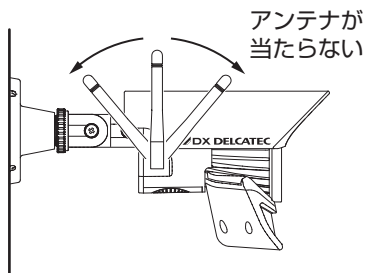


(WSC410S / WSC410C)

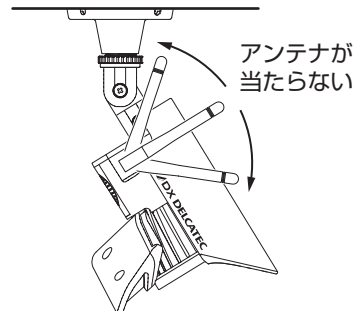


○上記の寸法からアンテナの高さを考慮し、アンテナが壁や天井に当たらないように設置してください。

壁面設置の 場合



天井設置の 場合



ご注意



石膏ボードに設置する場合は必ず内側の梁がある場所にねじがかかるように設置してください。

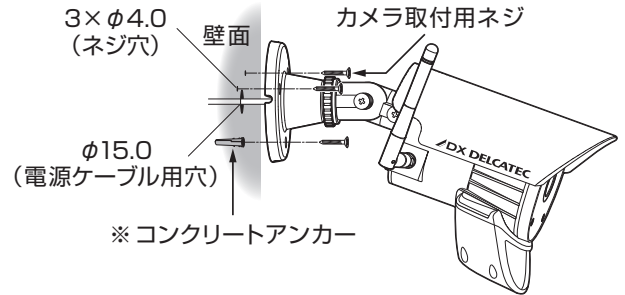
カメラを設置する (つづき)

2 カメラを設置する

① 取付ブラケットを設置面に固定する

付属のカメラ取付用ネジ3本で取付ブラケットを設置面にしっかりと固定します。

※ コンクリート面に設置する場合、あらかじめ設置場所にφ5.5～6.0mm程度の穴を開け、付属のコンクリートアンカーを打ち込んでから、カメラ取付用ネジで固定してください。



電源ケーブルの処理

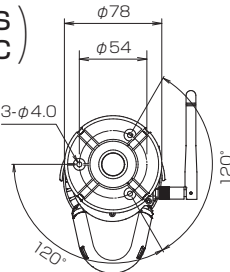
〔設置面を通す場合〕

ブラケット位置の中心にφ15mm程度の穴をあけて配線を通します。

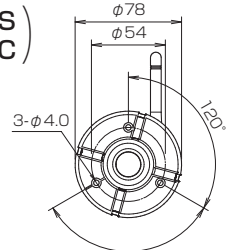
〔設置面を通さない場合〕

ブラケット裏面にある溝(4方向)のいずれかに配線を通します。

(WSC610S)
(WSC610C)



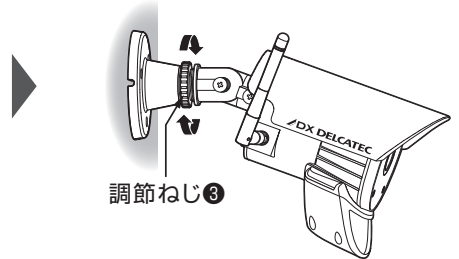
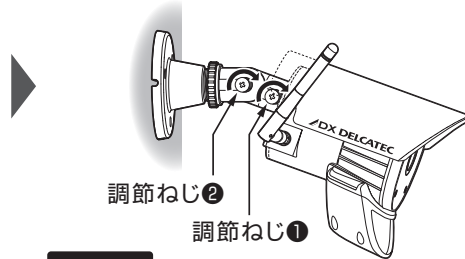
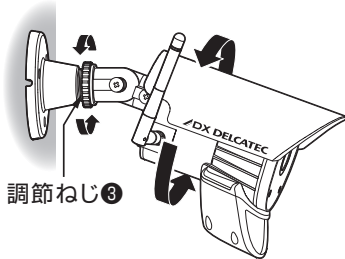
(WSC410S)
(WSC410C)



② 調節ねじ③とともにカメラを反時計回りに1～2回程度回して緩めます。

③ 調節ねじ①と調節ねじ②を一旦手で緩め、カメラの角度を調整した後、手で時計回りにねじを締めて固定します。

④ 最後にカメラが動かないようにして、調節ねじ③のみを時計回りに締めて固定します。



ご注意

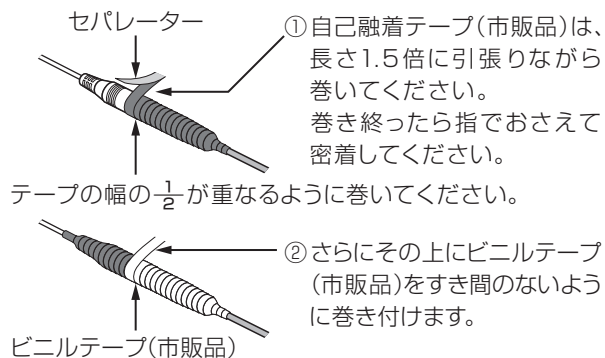


ペンチやドライバーなどの工具は使用しないでください。

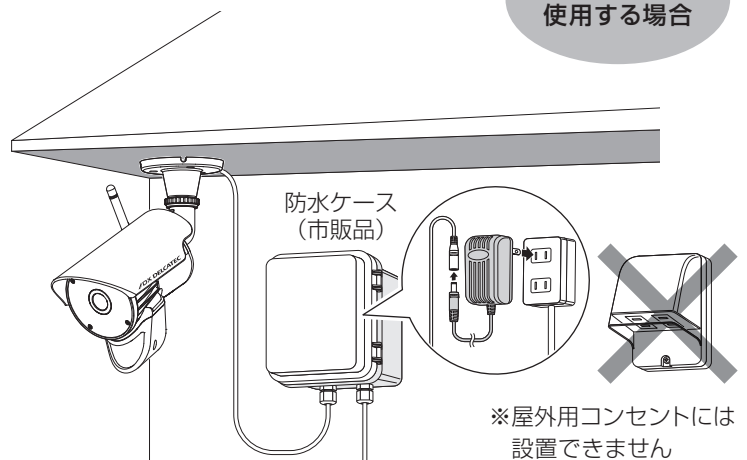
防水処理について (屋外に設置する場合は、必ず下記の方法で防水処理を行ってください。)

自己融着テープを使用する場合

AC100V 家庭用コンセントへ



防水ケースを使用する場合



3 カメラ設置後の動作確認

カメラを設置したあと、映像が映ることおよびモニターの受信強度が「**■**」になっていることを確認してください。「**■**」になっていないときは、P.4で設置状況を確認してください。

■ 増設用カメラを登録するとき

増設用カメラ(WSC610CまたはWSC410C)を使用するときはカメラとモニターをペアリングしてください。(詳しくは取扱説明書をご確認ください)